

市川 昭午先生

拝啓 平素は何かとご指導賜りまして、誠に有難うございます。この度、市川先生から拙書^(注)の文面に関してご指摘を賜り恐縮しております。私の不注意のために、カミングス氏のご見解を市川先生自身のご見解だと読者の方々に誤解を与えかねない文面になったことを深く反省している次第です。教養教育にご造詣の深い先生を尊敬している年来のスタンスに不本意にも水を差しかねない文面になったかと危惧しております。

実は私は昨年来、「カミングスの見解として」の文言を思わず失念したために上記のような誤解が起ころうと判断して、その回避を期して正誤表「専門教育の→W・K・カミングスの見解として専門教育の」を付して出版社に配布方をお願いしておりました。私なりに腐心しています点をお汲みとりいただきご理解を賜りますと幸いです。

ともあれ市川先生には多大なご迷惑をおかけしましたことをこの場を拝借して謹んでお詫びしますとともに、ご寛恕のほど何卒宜しくお願い申し上げます。 敬具

2023年7月24日
有本 章



(注) 有本章著 (2022) 『学問生産性の本質－日米比較』 東信堂

正誤表

 が該当箇所となります

ページ	行	誤	正
120	後から 1 行	専門教育の	W・K・カミングスの見解として 専門教育の
129	5 行	重点置く	重点を置く
186	4 行	プロフェッション	プロダクティビティ
315	後から 5 行	システムといほか	システムというほか
335	10 行	プロフェッション	プロダクティビティ
366	後から 3 行	一般教育としての	一般教育としての
386	後から 5 行	後と絶たない	後を絶たない
397	後から 3 行	プロフェッション	プロダクティビティ
478	後から 5 行	優先されなかつた	優先されなかつた
650	後から 3 行	指摘ししている	指摘している